



# 神郷 公民館だより



## 謹賀新年

神郷校区の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様方には、ご家族ともどもお元気で新年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

旧年中は公民館活動に対しご理解、ご支援、ご協力を戴き深く感謝申し上げます。尚、公民館が目指している安全で安心して、住みよい地域づくりの拠点としての機能を十分発揮でき実り多い一年となりました。これもひとえに各種団体、地域住民の皆様方の多大なご協力、ご支援の賜ものと深く感謝していただいております。今年度も忠魂碑、岡崎公園、神郷わくわく公園が地域の皆さんに喜んで利用して頂き、三世代の触れ合いの場として気持ちよく利用できる憩いの場にしていきたいと考えている次第です。また次代を担う子供達が、大人になっても「自分達のまち神郷」に住みたい、住み続けたいと思えるような「まち」に私たち大人が力を合わせて取り組んでいきたいと考えているところです。従って皆様におかれましては、本年も昨年同様皆様方のご理解とご支援、ご協力を更にお願ひ申し上げる次第です。公民館と致しましては更に躍進を目指し職員一同、力を結集し頑張り所存です。終わりに皆様の益々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。本年もよろしくお願ひいたします。

平成三十年 元旦 戊午 神郷公民館 館長 柴田 誠治

## 迎春

校区の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素から校区の各種行事並びに諸活動に対しまして、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。本年も一層のお力添えのほどよろしくお願ひいたします。

平成三十年 元旦

神郷校区連合自治会 会長 藤原 説夫



## 平成二十九年度 人権標語

《一年生》  
ともだちと にっこりスマイル 手をひろげよう  
一組 星川 夕空(ひゆう)

いやなところよりも すこい！かっこいい！をみつげたい  
二組 菅 奏太(そった)

かなしい瞳 さしだすその手で かがやく明日  
三組 浮川 彩晴(いろは)

《二年生》  
やさしさ えがお 思いやり わたしもみんなも出来ること  
一組 木村 心夢(みゆう)

ねえおいで みんなでいっしょに あそぼうよ  
二組 三好 郁穂(いくほ)

えがおいっばい ともだちいっばいそれがぼくのたからもの  
三組 永易 航季(こうき)

《三年生》  
じらいとき ひとじじゃないよ みんないる  
一組 石川 寛太(かんだ)

けんかなし いつも笑顔で 消えない友じよう  
二組 杉上 倅翔(ゆきと)

きみとぼく すきなものを 半分  
三組 海野 健太(けんた)

《四年生》  
友達の 心の声に 気づこうよ  
一組 藤山 想(そう)

まいてみよう 笑顔の種 そしたら咲くよ 笑顔の花  
二組 井上 玲来(れいら)

ほんのすこしのやさしさで 笑顔があふれる毎日  
三組 伊藤 萌々菜(ももな)

こえかけよう 一人一人がにっこり めざせ笑顔の花まんかい  
四組 永易 幸芽(こうめ)

《五年生》  
とどけたい 感しゃの気持ちこ ちやうど心  
一組 神野 成常(なりと)

人のせい 自分かわれば まわりもかわる  
二組 荒井 悠佑(ゆうすけ)

愛をまこつ 育てば友達 咲かばい  
三組 藤原 勇雄(いさお)

《六年生》  
わたし出発 優しい言葉 みんなに続く バトンリレー  
一組 田中 美琴(みこと)

だいじょうぶ 一人じゃないよ そばにいる  
二組 菅 美乃莉(みのり)

勇気だし やめるも止めるも 自分から  
三組 鎌倉 朱里(しゅり)

## 神郷俳句教室

枯蟬螂足場定めて枝と化す 永易 千鶴子

名月や厨から見る絶景かな 三好 寿恵子

秋磯に不動の構へ鷺一羽 村上 生子

秋の山坑夫の悲喜秘め流る川 安藤 由子

はらはらと散りてはかなき木の葉雨 市川 由紀子

十三夜月との散歩又楽し 岩崎 淑昌

紅葉谷口笛吹きて赤き橋 内田 八重子

松茸の香に誘われて人集ふ 小野 美重子

少女らの髪もてあそぶ秋の風 加藤 ミドリ

遥かなる鉾山追憶の冬桜 加地 清子

停泊船船首を北へ鳥帰る 佐々木 俊行

島渡船通勤女教師毛糸編む 阪上 史琅

## 大掃除のお礼

12月10日に神郷公民館・小学校体育館の大掃除を行いました。年末のお忙しい中、大勢ですみずみまで掃除して頂きありがとうございました。おかげ様で新しい年を気持ちよく迎えることができました。



# 探訪シリーズ

## 初代・西条藩主一柳家の歴史



江戸時代、この地方（松神子村・郷村）は西条藩の領地でした。西条藩は、1636年（寛永13）初代藩主一柳直盛から始まりますが、その一柳家の<sup>ひとつやなぎ</sup>変遷と顛末について整理してみます。一柳直盛は、大坂夏の陣で徳川方に味方して戦功を挙げ、このことが功績とされ、石高6万8600石をもって西条藩へ転封となるが西条への赴任の途中、大阪で病没する。

直盛の没後、幕府の命により一柳氏の遺領は長男直重に西条3万石、次男直家に川之藩2万8600石、三男直頼に伊予国小松藩1万石が分け与えられた。

西条藩直重の領地は、宇摩・新居・周布の三郡に及びました。直重は入封すると西条平野北部に陣屋を築き、その東西に武家屋敷を配しました。また東の武家屋敷の東隣りに町人町を興して陣屋町を開きました。西条藩の基礎を築いた直重の後には、長男直興が継いだ。弟直照が土居町八日市に5000石で分家したため、直興が相続した家督は2万5000石でした。しかし直興は参勤遅参・領内仕置の不都合などの理由で、幕府より1665年（寛文5）に改易され領地は一時幕府領となりました。改易後の西条の治安については、小松藩二代藩主一柳直治が老中の命により監督した。これにより西条藩一柳氏はわずか三代30年で断絶した。なお、直照の5000石は宇摩郡津根を中心としたが、その子<sup>なおます</sup>直増のとき、1703年（元禄16）に播磨へ転封となった。

次男直家が相続したのは、伊予国宇摩郡・周布郡にまたがる2万3600石と播磨国加東郡5000石あわせて2万8600石の大名となった。直家は伊予川之江に陣屋を定め川之江藩を立藩。播磨国は分領とし、小野に代官所をおいた。後に直家が小野に居住を移したため、実質的に小野藩が成立した。直家が1637（寛永14）に死去、遺領は養子に家督相続は認められたものの、伊予国の1万8600石は没収され幕府領となり、小野藩の所領は1万石のみとなるが、直家の系統は播磨國小野藩1万石の領主として廃藩置県まで続いた。

三男直頼は1万石を相続、周布郡新屋敷村に陣屋を構え小松藩を立藩した。小松の地名は、陣屋付近に背の低い松が群生していたことに由来するという。

その後の藩政においては、小松陣屋町の構築や家臣団の編成、300町歩の新田開発などを行った。1万石の一柳家は小藩ながら伊予の国には小松藩のみが残ることとなったが、小松藩は江戸時代初期の1636年から廃藩置県まで、外様大名の一柳氏が9代230年にわたり治めた。

### <<公民館からお知らせ>>

1月9日（火）11:00～12:00 神郷公民館において、神郷いきいきクラブの皆さんが作って下さった「七草がゆ」をいただきます。

皆さんも一緒にいかがですか？

ご近所お誘い合わせのうえお越し下さい。

参加費 無料

### <<小学校からののお知らせ>>

神郷小学校 人権・同和教育参観授業、講演会ご案内

日時 1月25日（木）13:00～13:45参観授業 各教室

14:00～15:00 講演会 体育館

講師 峯本 陽子先生（砥部町立砥部小学校校長）

地域の皆様、是非一緒に峯本先生のお話を通して、人権の大切さを考える機会となれば幸いです。

### 餅つき&しめ縄作り報告

良い年を迎えられますようにと願いをこめて今年も餅つき、しめ縄作りを実施しました。

12月6日は神郷幼稚園で餅つきが行われました。神郷公民館の乳幼児講座の一環で老人クラブさんのご協力により神郷幼稚園の全園児さんが、可愛いかけ声をかけながらペタンペタンお餅をついて、その後きなこやあんこをまぶしたアツアツのお餅を頂きました。

12月15日には神郷小学校でしめ縄作りが行われました。こちらも老人クラブさんが先生になって小学5年生全員にしめ縄作りを教えてくださいました。



### 1月（睦月）の行事予定



4日(木)		御用始め	
5日(金)	13:30～	見守り推進委員会	神郷公民館
7日(日)	19:00～	老人会長会	〃
	11:30～	成人式	文化センター
9日(火)		小・中学校始業式	小・中学校
	11:00～	七草粥	神郷公民館
	18:00～	運審会	〃
10日(水)	19:00～	健全育成部定例会	〃
13日(土)		防災研修	徳島方面
15日(月)	19:00～	環境美化部定例会	神郷公民館
19日(金)	9:30～	ママ友講座恵方巻	神郷公民館
21日(日)		校区ドッチビー	神郷小学校
	13:00～	新居浜市 凧上げ大会	マリンパーク
	雨天時	28日(日)	
23日(火)		連合自治会長会	
		神郷幼稚園卒園パン教室	神郷公民館
24日(水)		乳幼児講座閉講式	神郷幼稚園
26日(金)	13:30～	読み聞かせ反省会	神郷公民館